

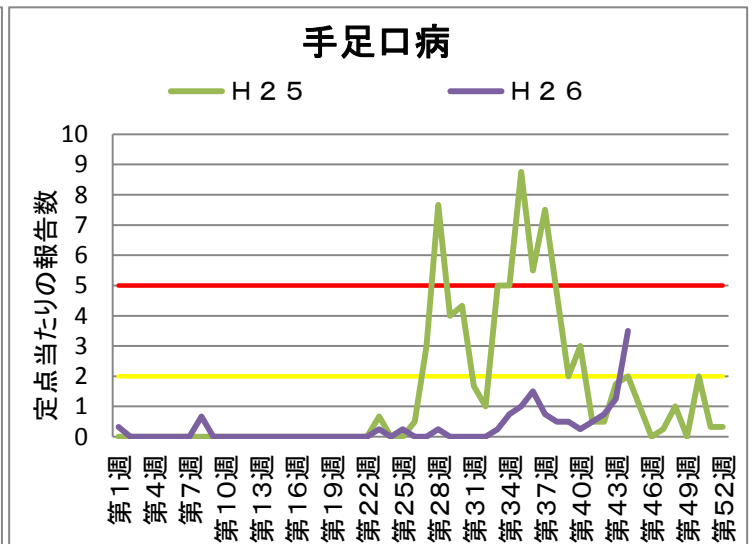
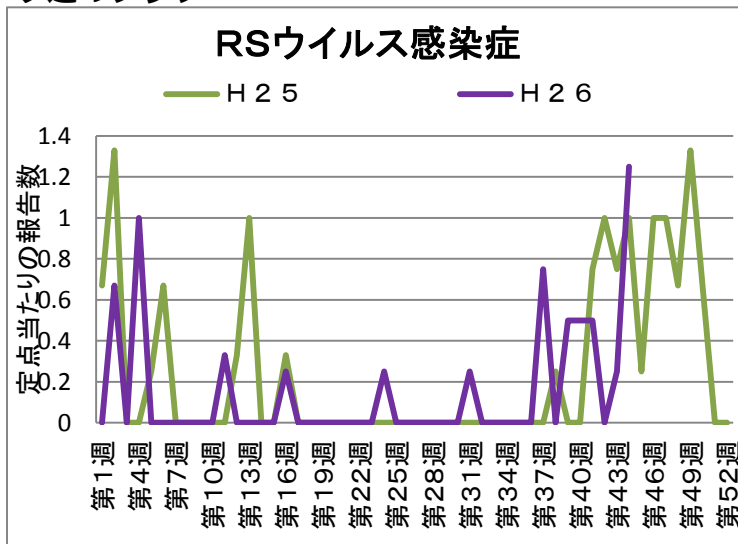
# 乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 44 週 平成26年10月27日 ~ 平成26年11月2日

## 今週のコメント

RSウイルス感染症の報告が、昨年と同程度のレベルまで増加しているため、注意が必要です。年長児や成人は感冒様症状のみである場合が多いので、咳等の呼吸器症状のある年長児や成人は、可能な限りマスクを着用し、0歳児と1歳児との接触を避けることが、重症化しやすい乳幼児への感染予防につながります。手足口病がやや増加しています。日頃からの手洗いうがいをこころがけましょう。

## 今週のグラフ



\* 赤線 — 流行警報基準値です      黄線 — 警報継続基準値です

## 今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	-	手足口病	3.5
RSウイルス感染症	1.25	伝染性紅斑	0.5
咽頭結膜熱	0.5	突発性発しん	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.5	百日咳	-
感染性胃腸炎	3.5	ヘルパンギーナ	-
水痘	1.25	流行性耳下腺炎	0.25

定点当たりの報告数 = 一週間の報告件数総数 / 定点数

\* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

## 参考資料等

報告週対応表

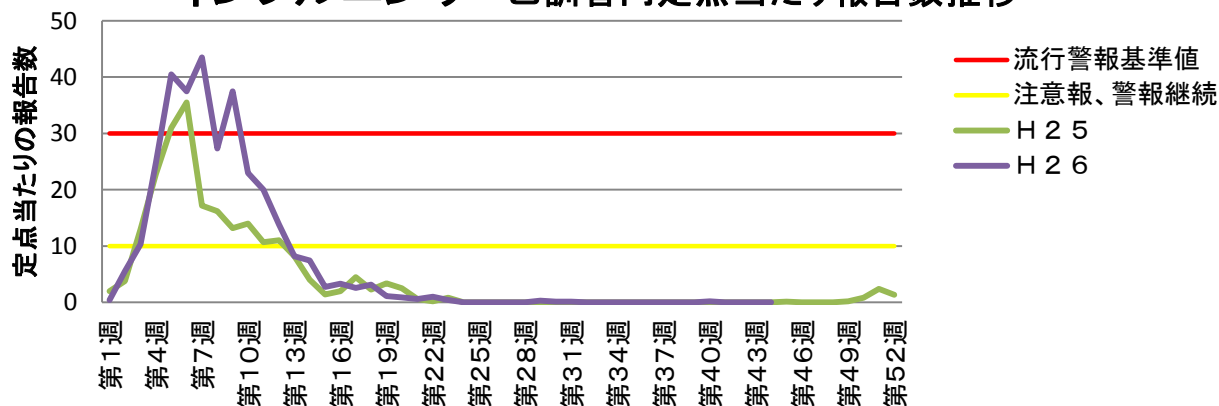
警報・注意報基準値の説明

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

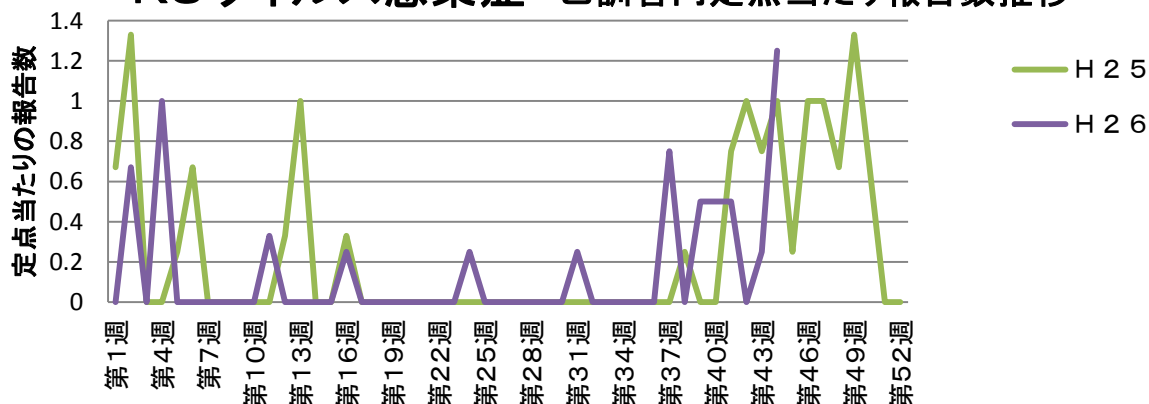
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide05.html>

## 定点報告による各疾病の推移

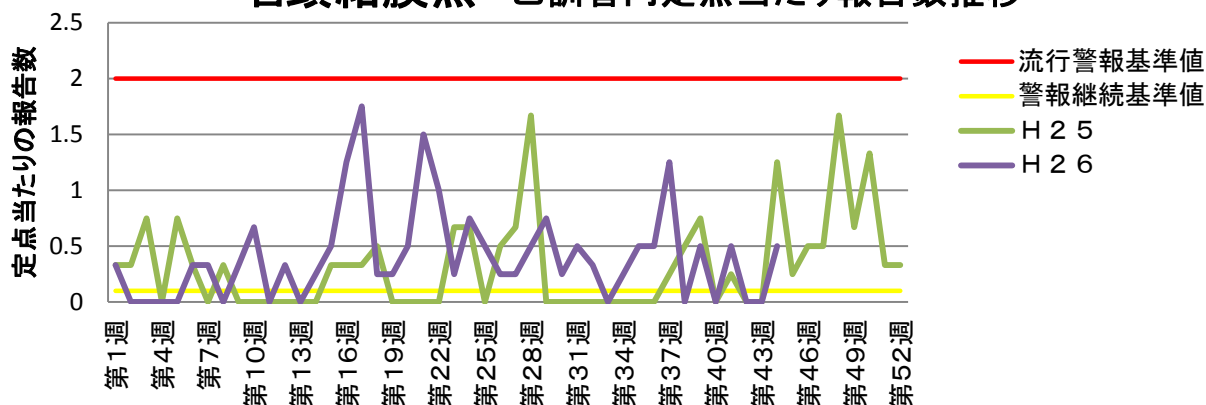
## インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



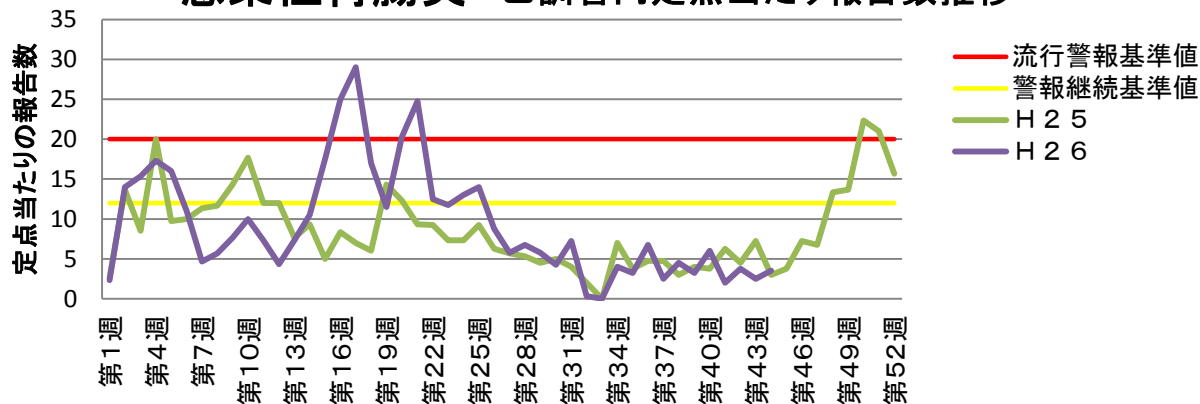
## RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



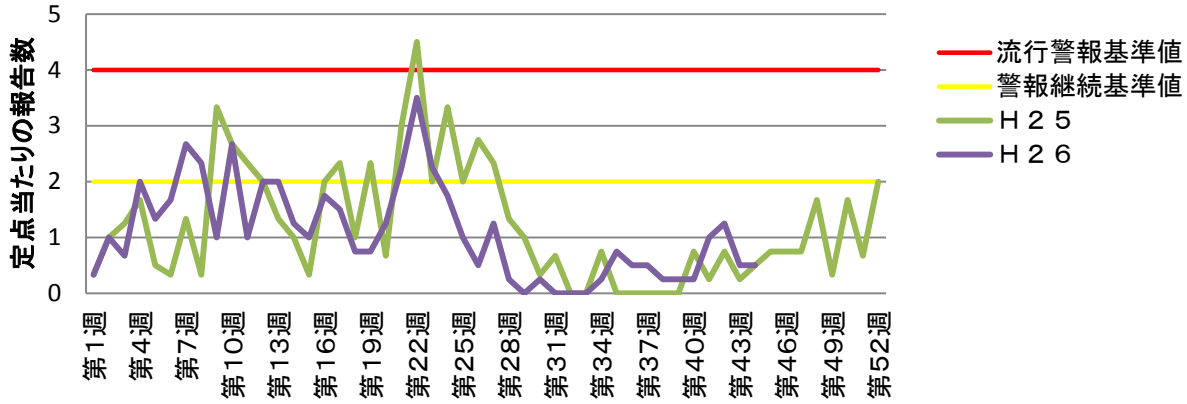
## 咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



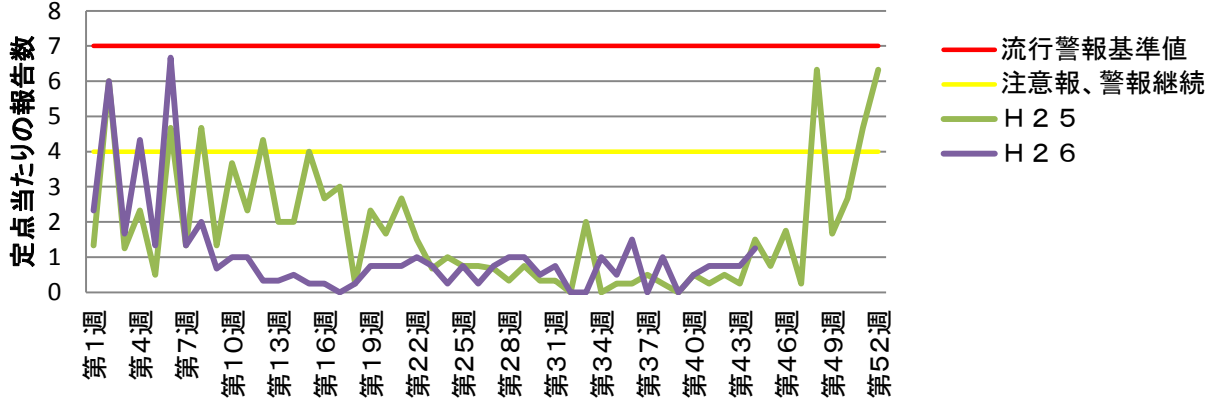
## 感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



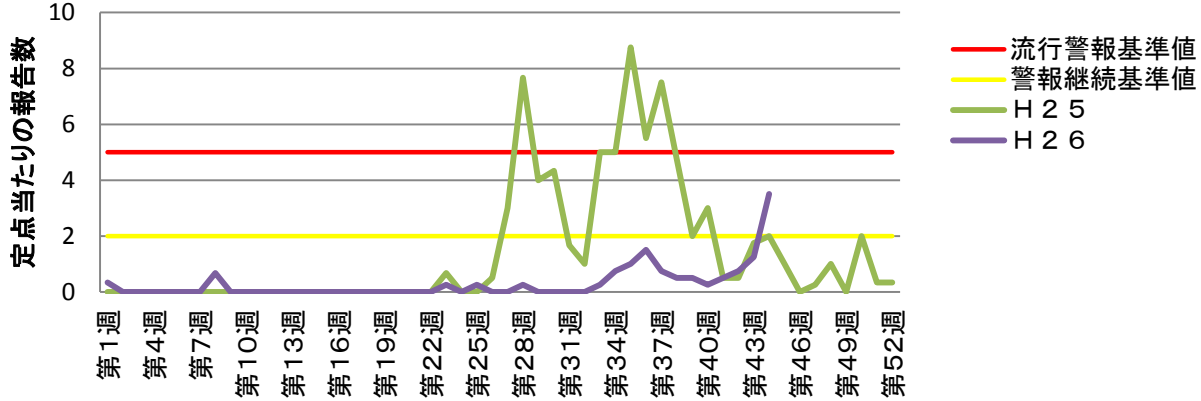
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



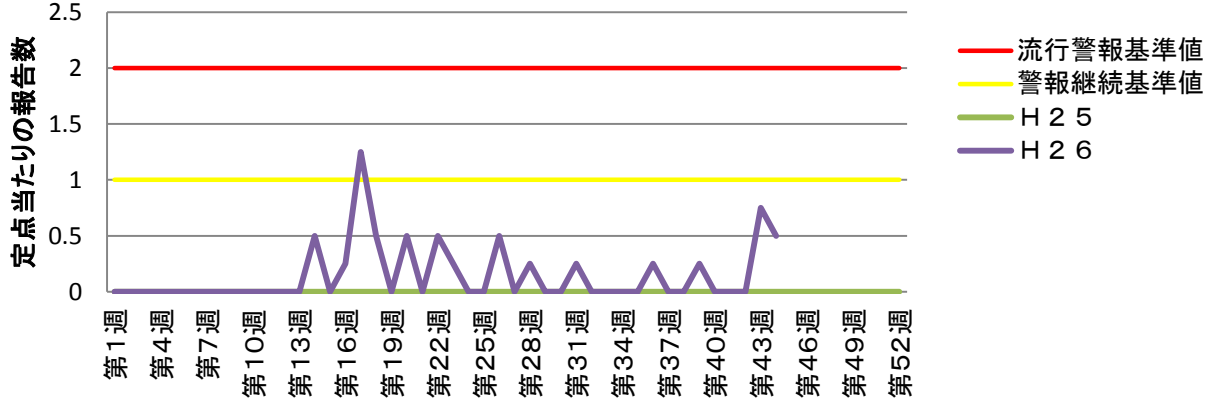
### 水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



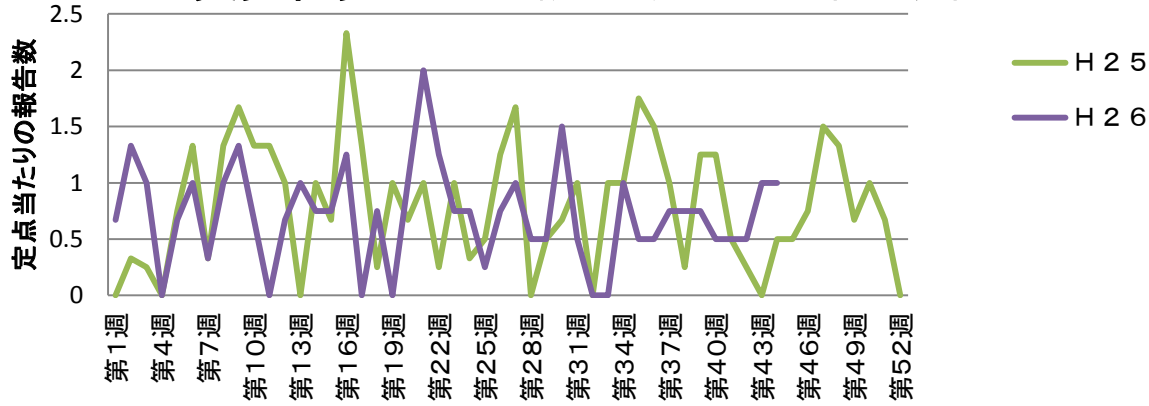
### 手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



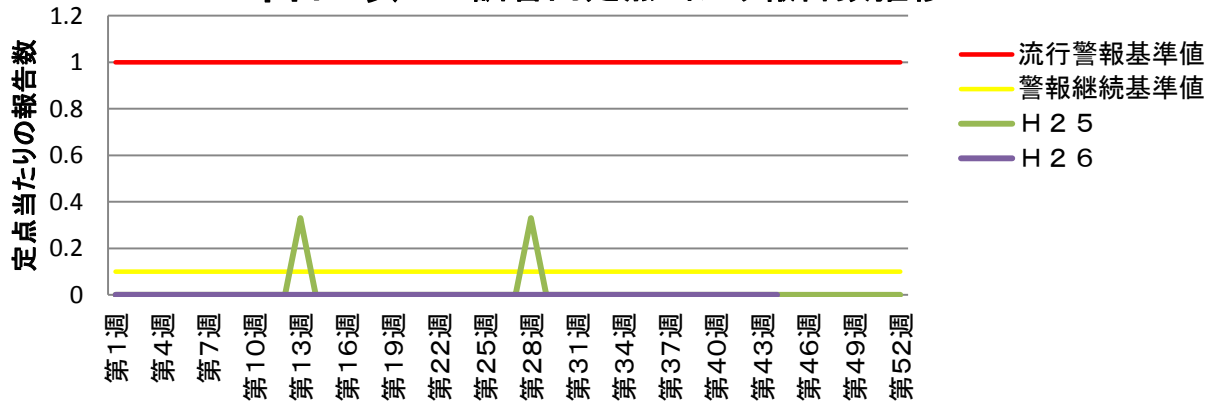
### 伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



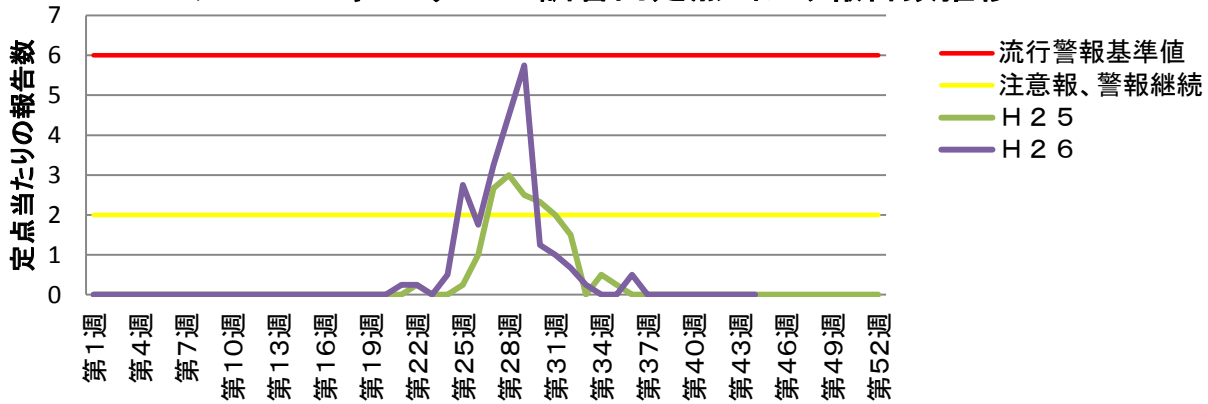
### 突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



### 百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



### ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



### 流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

